

# 酸化分解性マルチ・ 生分解性マルチの効果確認試験

JAゆうべつ町

井上 豊



畑楽マルチ鋤き込み後 9月20日撮影

## 試験目的

酸化分解性マルチ・生分解性マルチの効果確認

## 試験作物 及び品種

スイートコーン

## 試験資材 及び数量(規格)

畑楽マルチ(0.018mm×110cm×400m) 透明 有孔 1本  
コーンマルチⅡ(0.015mm×95cm×400m) 透明 有孔 1本

## 慣行資材

Bio-Pal(0.012mm×110cm×400m) 銀ネズ 有孔

## 栽培方法

播種日
5月下旬

【栽植密度】	【栽植密度】
畝幅：60cm	畝幅：45cm
株間：33cm	株間：30cm
(畑楽マルチ、Bio-Pal)	(コーンマルチⅡ)

## 資材使用期間

5月～10月



## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行区、試験区共に問題なく展張作業を行えた。また鋤き込みも問題なく行えた。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

草丈、葉数などは慣行区、試験区共に問題なかった。製品率は畑楽マルチ、Bio-Pal、コーンマルチⅡの順で優れていた。

粒列数は同等であった。

糖度はコーンマルチⅡ、畑楽マルチ、Bio-Palの順で優れていた。

### (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

今年度は雨が多かった影響か、Bio-Palの分解が早く7月頃に破れ始めていた。

畑楽マルチは分解が遅かったが、鋤き込み作業は問題なく行えた。

### (4)保温効果について

おんどりのデータによると畑楽マルチが保温効果が最も高かった。

コーンマルチⅡとBio-Palの保温効果は同等であったが、コーンマルチⅢは最高温度と最低温度の差が小さいという傾向があった。(マルチ幅が異なることによる可能性も考慮必要。)

### (5)雑草・病害虫の発生について

土壌処理を行ったため、雑草は特に問題にならなかった。

## モニター感想

試験品は問題なく使用することができた。畑楽マルチは分解が遅かったが鋤き込みはできたため問題ないと思う。価格が安いので、今後の使用を検討していきたい。

## JA担当者の感想(生産資材課 内山係長)

マルチ代が近年、上がってきているため、安価なマルチは今後、普及していくと感じている。畑楽マルチは分解が遅いと聞いていたため、不安もあったが、鋤き込み作業が問題なく行えたのはよかった。土中でも分解が進むとのことなので、今後の分解の度合いを調査していきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。  
畑楽マルチの分解が遅く、心配な面があったが、鋤き込みはできたため使用可能だと考えられる。

1 栽培システム

2 敷設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防虫資材

9 ICT機器

10 その他